

一 般 質 問 要 綱

令和 4 年第 9 回 12 月 定例会

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
1	13	齋 藤 仁 一	1 住民自治組織について (1) 市長 2 期目の 11 の約束の一つに「市民ニーズ解決のため、住民自治組織の充実・組織機構の改編」とあるが、具体的にどう進めるのか（スケジュール、地域の範囲、体制、財政等）伺いたい。 (2) 各地区ではまちづくり協議会の設置などの取組があるが、現況及び取組内容はどうなっているのか。また、今後の市の方針について伺いたい。 (3) 小規模多機能自治によるまちづくりをしている雲南市等の先進事例の検討はどのように行ってきたのか。その評価と今後の見通しについて伺いたい。 2 8 月豪雨災害対策及び対応について (1) 現時点での被害種別の災害復旧スケジュールは当初の計画通りに進んでいるのか。また、復旧見通しはどうなったのか伺いたい。 (2) 先の議会臨時会で予算が可決された農業用水堰仮復旧工事の進捗状況と工法について伺いたい。 (3) 10 月から庁内に農地、農業用施設及び林業施設災害復旧プロジェクトチームを設置し事務を担う組織体制を整備したが、その組織体制の人員配置（経験者か未経験者か）と人数、期間はどうか伺いたい。また、プロジェクトチームの職員の勤務体制はどうなっているのか伺いたい。 (4) 今後、かなりの箇所の工事発注や現場監督の事務、そして、農地、農業用施設災害復旧事業では補助率増嵩申請事務などに対応することとなるが、そのためにこの組織体制で十分なのか伺いたい。 (5) 今後もこのような災害が発生することが懸念される。そこで、災害復旧事業に対応できる職員の育成が必要であり、今回が職員育成の良い機会であるが、市の考えと対応について伺いたい。 3 いじめと不登校の対応について (1) 喜多方市内のいじめと不登校の実態（3 か年間）はどのようになっているのか伺いたい。 (2) いじめや不登校に至る要因をどう分析しているのか。また、その対応について伺いたい。 (3) 市内のスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの配置人数と活動実態（3 か年間）はどのようになっているのか伺いたい。
2	20	佐 原 正 秀	1 下水道と地域資源循環システム社会の取組について 皆様方は下水道という言葉聞いたとき、どんなイメージを持ちますか。おそらくほとんどの方は汚いと思われるでしょう。私は昔、下水道の普及を図るため、ある地区の市長さんが、処理された水をコップに入れて試飲する光景が浮かびました。 確かに地下の下水管を流れる水は、まだ汚れた水であります。その汚れた水が浄化センターできれいになるとき、今こそ循環型の、新たな資源が生まれてくることを知るべきであります。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			下水処理水は田んぼの水に、下水汚泥から出る消化ガスは電気と熱に、下水汚泥そのものは肥料に、本来捨てるものを活用すること、これが循環型社会の第一歩となります。下水道が持つエネルギーには、我々の暮らしを豊かにしてくれる可能性が秘められており、下水道の利活用がもたらす未来への希望であります。 本市におけるこれらの活用については、どのように考えられ取組まれますか、お尋ねいたします。 (1) ビストロ下水道に学ぶ本市の取組について (2) 下水道資源が生み出す利活用の取組について (3) 消化ガス発電の取組について (4) 下水道資源が生み出す安心・安全な循環型農業について 2 高齢者が安心して暮らし続けるまちづくりについて 全国の警察に2021年に届出があった認知症を原因とする行方不明者は過去最多の1万7,636人と発表されました。これは前年比71人増で、2012年に統計を取り始めてから9年連続の増加です。2021年中に所在を確認できなかった方は22人増の236人となったと発表されました。高齢者の見守りや健康寿命を延ばし、より暮らしやすくするための支援が求められます。 一方で、環境づくりは健康福祉事業においても必須であり、それらのサービス充実の取組など、住民の健やかで元気を支える施策が重要であります。 そこで、各自治体がさまざまなツールを活用した高齢者見守りサービスを提供する中で、本市においてもICTによる新たな見守りサービスを開始することが重要であり、これらを利用する高齢者本人以外にも、遠方にいる家族からも高い評価が期待されるものであります。 本市においても、これらの取組について、対策を図るべきと考えますが、お尋ねいたします。 (1) 認知症高齢者の徘徊防止対策について (2) 介護サービスの質の低下に伴う質の高い支援の取組について (3) ICTによる音声対応型見守り導入の支援策について (4) 市民の健康寿命を延ばすための施策について (5) AI・ICTを活用したこれからの高齢者見守りについて (6) 超長寿社会における高齢者への学びの支援策について (7) コロナ禍による社会変容を踏まえた健康増進施策について 3 会津地域移住・定住支援エキスパート会議と本市の移住・定住対策について 先日、会津地域への移住者を各分野の専門家が支援する、「会津地域移住・定住支援エキスパート会議」が発足したとの報道がありましたが、本市における関わり方はどのような現状にあり、どのように進めていく考えか伺います。 私は、この内容を見ましたが、なじみのない土地での暮らし、移住者の不安や懸念を軽減し、手厚いサービスを提供して地域定着を促す

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			との活動内容であり、本市で進めております移住・定住促進事業との連携が重要と考えております。今後のこれらの対策についてお尋ねいたします。 (1) エキスパート会議との連携と支援の取組について (2) 県内外における移住・定住相談会の開催における連携について (3) 地域一体で進める移住・定住促進対策について (4) 地に足の着いた地域づくりについて
3	19	後 藤 誠 司	1 小中学校適正規模適正配置実施計画検討の進捗について 市立小中学校適正規模適正配置実施計画（案）については、保護者説明会、地域説明会がそれぞれ実施されました。説明会で出された意見を整理し、各種会議の場において実施計画（案）の検討を進め、必要に応じて見直しを行いますとなっております。 その後の検討状況について、以下の点を伺います。 (1) 各会場において出された意見については、全て検討しますということでしたが、検討状況はいかがか伺います。 ア 小規模校に課題があるというが、学術的データはないという意見について イ 説明会の周知と方法に関する意見について ウ 上三宮小だけへの小規模特認校制度の導入は不公平ではないかという意見について エ 学校のない所に若者は住まず、地域がさびれてしまうという意見について (2) 文教厚生常任委員会で行政視察をした島根県邑南町での研修によると、島根県内での小学校を統廃合した地区（公民館、旧市町村エリア）と統廃合していない邑南町を比較すると、統廃合していない邑南町の方が明らかに人口減少率や15歳未満減少率、30歳代減少率が低いというデータが出ているが、このことについてはいかがお考えか、見解を伺います。 2 温泉保養施設ふれあいランド高郷について 昨年12月に、高郷・山都の地元議員で、ふれあいランド高郷及びいいでのゆを見て回り、担当者から説明を聞きました。 そのことを念頭に次の点を伺います。 (1) 老朽化に伴う施設の整備状況について伺います。 (2) 機械設備等のメンテナンスについて伺います。 (3) 支配人等の人事について伺います。 (4) パークゴルフ場の芝の管理をパークゴルフ協会がボランティアで担っている状態と聞きますが、本来施設として担うべきと思うが、見解を伺います。 3 災害情報連携システム再構築事業について (1) 防災ラジオの受信具合の悪いところもあるようだが、対応状況について伺います。 (2) 秋の行政懇談会での質問の中で、火災情報等の地域情報への懸念

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			がりましたが、対応について伺います。
4	3	山 口 文 章	1 18歳成年の民法改正に関わる課題について 令和4年4月1日より、成年年齢が20歳から18歳に引き下げられました。成年年齢が引き下げられたことにより、改正時点で18、19歳だった方は新成人となり、その後は18歳の誕生日を迎えると成人になります。 以前、民法改正による本市での成人式の在り方について質問しましたが、現状、全国では様々な課題が発生しているとのことですが、本市の対応について伺います。 (1) 本市における相談窓口対応、周知について 消費者トラブルに巻き込まれた場合等、起きてしまった場合の相談窓口や巻き込まれないための注意喚起などが必要と思います。本市の対応について伺います。 また、18、19歳の方に該当する相談があれば、その件数を伺います。 (2) 小中学校での教育・周知について 成人になる心構えを教えることが、小中学校での教育に必要と考えます。新たに18歳が成年になることについての教育を現在行っているのか、伺います。 2 慶徳地区文化財について 7月2日、国指定重要無形民俗文化財である「慶徳稲荷神社の御田植祭」が豊岡地区、保存会をはじめ、公民館、小学校など多くの関係者のご尽力でコロナ禍の中、3年ぶりに通常開催することができました。また、新宮地区では国指定重要文化財、「熊野神社長床」の御神木である大イチョウのライトアップが11月15日から22日まで行われ、大勢の観光客が訪れました。 市としての、今後の文化財の課題について伺います。 (1) 「慶徳稲荷神社の御田植祭」の今後の課題について ア 令和元年6月議会で質問していますが、保存会からの相談があった、慶徳小学校児童数減少による市内の小中学校の連携の取組について伺います。 イ 前記と同じく質問していますが、人材育成の取組、映像記録の実施内容について伺います。 (2) 「熊野神社長床」の今後について ア ライトアップ時の保存会と連携した取組について伺います。 イ 新宮地区内、また、豊岡地区内の市道・県道の交通安全対策や道路・駐車場整備の状況について伺います。 3 消防団について 今年4月より消防団の再編を行い、新たな人員での活動となりました。8月3日には喜多方市の豪雨災害対応、10月23日にはコロナ禍の中、3年ぶりとなる全団員参加による秋季検閲が開催されました。 その他に国の方針として、消防団への報酬支払方法が団員個人口座

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			への振込みに変わりました。消防団の現状が様々変わっていく中で、本市の消防団への積極的支援や、今後の方向性などの考えについて伺います。 (1) 本市消防団では、上期手当より報酬が団員の個人口座へ振込みになりましたが、今までの報酬支払方法はどのようになっていたのか伺います。 (2) 団員個人への口座振込みになったため、各所で様々な問題が発生しています。団、支団、分団等で今まで対応していた経費などがありますが、これらの経費についての対応は、今後本市はどのように対応するのか、考えを伺います。 (3) 10月23日に3年ぶりとなる全団員参加による秋季検閲が開催されました。コロナ禍による開催でしたが、今回の検閲における当局の総括について伺います。 また、今回の秋季検閲では体調不良者が数名出ましたが、行事での体調不良者への対応、消防団行事の今後の在り方について、市の考えを伺います。 (4) 消防団活動でのポンプによる排水作業について 消防団のポンプは消火作業がメインであり、排水作業にはあまり適していないと考えます。近年、豪雨災害が多発する中、消防団への新たな装備等の考えなど、市の今後の対応について伺います。
5	10	遠 藤 吉 正	1 産業・地域振興と移住・定住施策について 現在、本市の観光・産業・食文化の柱である喜多方ラーメンは、少子高齢化、コロナ禍等の社会変化の中で大きな過渡期を迎えていると考える。 再度、原点に戻り官民が一体となり協働し、喜多方ラーメンによる継続的な産業・地域振興の推進及び移住・定住施策を含めた事業継承への具体的な施策が必要と考えるが、市の見解を伺う。 (1) 本市における喜多方ラーメンの現状について ア 喜多方ラーメンについて、市の認識を伺う。 イ 市内の喜多方ラーメン店の店舗数における最盛期と現状について、また喜多方ラーメンにおける最盛期と現状の経済波及効果をどのように分析しているのか伺う。 ウ 本市における喜多方ラーメンは、「喜多方」のブランド名の核として国内外に発信されているが、各地域間での食等による地域おこし競争でこれまで以上の情報発信が必要と考える。市としてラーメン産業関係団体と協働し、さらなる喜多方ラーメンの情報発信や産業強化支援への取組が必要と考えるが、見解を伺う。 (2) 喜多方ラーメンの事業継続のための移住・定住施策について ア 現在、喜多方ラーメンの店舗は高齢化や後継者問題により減少しているが、現状をどのように認識、分析しているのか伺う。 イ 今後、本市の資産である「ラーメンのまち喜多方」を守るために、移住・定住施策と連携した事業継承のための仕組みづくりが

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			必要と考えるが、見解を伺う。
			2 国際交流施策について 本市は、1988年に米国ウィルソンビル市と姉妹都市の締結、今年中国宿遷市と友好都市を締結し、今後新たな交流施策の展開が必要なことから、国際交流事業を具体的に事業拡大するためには民間と協働した事業の推進が必要と考えるが、見解を伺う。 (1) 国際交流について、本市の基本的な考え方について伺う。 (2) 今後の本市における国際交流施策の事業展開について伺う。 (3) 本市の国際交流を担う協会の現状及び事業内容について伺う。 (4) 本市においても多様化する国際交流事業の展開、在住外国人及び技能実習生等への支援を考えた場合、それを担う国際交流協会の組織強化が必要と考える。今後、協会の組織強化と支援体制も含め、市の見解を伺う。
6	4	十二村 秀孝	1 田んぼダムについて 令和3年6月定例会において質問しましたが、本市は県内で最初に「田んぼダム」の取組がなされました。近年は、気候変動に伴う線状降水帯の発生などにより局地的な大雨が発生し、大きな災害が頻発しています。 そこで、次の3点について伺います。 (1) 現在までの田んぼダムの取組地域数と面積、今後予定されている田んぼダムの取組地域数と面積について伺います。 (2) 現在、田んぼダムに取り組んでいる地域での反応や効果について伺います。 (3) 河川改修には多額の費用と長期間を要する中、水害を軽減するためには流域全体の関係者が協働し、水害を軽減する「流域治水」への転換が重要であると考えますが、市の考えと今後の進め方について伺います。 2 SDGsの促進について 喜多方市環境基本計画の基本方針に本市が目指す環境像として「人と自然が共生できる地球にやさしいまち喜多方」を掲げ、望ましい環境像の実現に向け、5つの取組の柱の下、各種施策を実施していくこととしております。 そこで、次の4点について伺います。 (1) 市民や事業者による環境保全活動の現状をどのように捉えているのか伺います。 (2) 市民や事業者による自発的な環境保全活動に対する支援の内容について伺います。 (3) 市民や事業者による環境保全活動を活発化させていくためにはどのような取組が必要と考えているのか、市の考えを伺います。 (4) 清掃活動をスポーツに見立て、制限時間内に拾ったゴミの量を競う日本発祥の新たなスポーツである「スポGOMI」が全国各地で取り組まれてきております。こうした取組は市民の意識改革を促す

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			きっかけとなるものと考えますが、本市でも取り組む考えはないのか伺います。 3 ふるさと納税について 令和2年9月定例会において質問しましたが、「ふるさと納税」については喜多方市のファンづくりと地域経済の再生に向けた財源の確保につながるものと考えています。 そこで、次の4点について伺います。 (1) 本市のふるさと納税額の過去2年間の推移について伺います。 (2) 返礼品の品目別内訳割合の過去2年間の推移について伺います。 (3) ディスプレイ広告掲載後のふるさと納税額の現在までの推移について伺います。 (4) 関係人口を増やすための取組を今までどう検討されたのか伺います。
7	21	山 口 和 男	1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金及び来年度の予算編成について (1) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について伺います。 ア 今年度、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が7億2,889万円交付されましたが、同交付金が交付される基準と、その基となる実施計画はいつ作成したのか、伺います。 イ 地方公共団体の令和2年度予算、令和3年度予算もしくは令和4年度予算に計上され、実施される事業（令和2年度当初予算に計上された事業にあっては、新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援等に特に必要と認められるものに限る。）、または令和2年度予算、令和3年度予算もしくは令和4年度予算に計上された予備費により実施される事業は臨時交付金の交付対象となると国は言っています。確認ですが、間違いないでしょうか。市の地方創生臨時交付金の事業の内容をお知らせください。 ウ 7億2,889万円はすべての事業分と理解してよろしいか伺います。 エ 1億6,074万6千円は実施計画に入れていたが、国の査定により交付されなかったので一般財源で対応したということでしょうか、伺います。 (2) 来年度の予算編成について伺います。 ア 地方創生臨時交付金が国のさじ加減で決まるなら、その穴埋めとして地方交付税を増やす方策を考えていると思いますが、その考えと実効性を伺います。 イ このような中で来年度の重点事業は何なのか伺います。併せて、予算規模を伺います。 ウ 原材料高騰によるコスト高で価格転嫁がされれば、労働者や自営業の多くは消費者物価高騰により尚一層困難な生活を強いら

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			れるこの現実を、市はどのように捉えているのか。対応策を伺います。 エ 来年度予算の財源確保と見通しを伺います。 2 浄化センター未利用地の利活用について (1) 会津電力株式会社がバイオマス発電事業に取り組むことは、再生可能エネルギーの推進を高める市の方針と合致しており、歓迎するものであります。会津電力株式会社に敬意を表すると同時に、市でもどういった協力ができるのか連絡を密にして事業の取組を応援すべきと考えますが、いかがか伺います。 (2) 新事業の稼働までのスケジュールを年度ごとに伺います。 (3) バイオマス発電事業においては、市内の公有林、森林活用や林業振興は大きな鍵を握ると考えます。その方策と新たな雇用創出の具体策を伺います。 3 昭和電工株式会社喜多方事業所の有害物質と汚染水について (1) 10月3日付けで喜多方市役所、会津北部土地改良区、昭和電工株式会社喜多方事業所に要望書を提出したところ、約1ヶ月以内に一次回答をするとのことでしたが、未だ回答がないがどうなっているのか伺います。 (2) 9月議会で昭和電工株式会社の汚染水の調査に関する請願書が採択されましたが、その後の取組状況を伺います。 (3) 土壌汚染法で定められた全26物質と水道法で定められている全51項目の調査の進捗状況を伺います。
8	7	渡 部 一 樹	1 都市計画について (1) 未利用地整序重点地区としている東部地域については、都市計画だけでなく、市民生活、総合計画の推進の視点からも庁内で議論していくと答弁しているが、現状の議論の経過と認識について伺いたい。 (2) 旧県立喜多方東高校に係る事業者等の問い合わせ状況について伺いたい。 (3) 当該地域については民間事業者等と連携しながら商業施設や公共施設、快適な住空間の提供など、これからの若者世代に「喜多方の新たな魅力」としてビジョンを示す必要があると考える。市長の決意を伺いたい。 (4) 塩川地区についてもさらなる事業促進の可能性を秘めた地域であるとする。都市再生整備計画の進捗と塩川IC周辺の開発計画の策定に着手すべきと考えるが、見解を伺いたい。 2 保育士の確保と待遇改善について (1) 本年度の出生数の状況から来年度以降の保育について民間事業者から不安の声が寄せられている。来年度の公立と民間での入所調整の考え方について伺いたい。また、今後公立を縮小していくのか、考え方について伺いたい。 (2) 公立と民間の保育士の給与差はどの程度と認識しているのか伺

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			いたい。また、来年度予算において私立保育施設保育士等处遇改善補助金の拡充を求めるが、見解を伺いたい。 (3) そもそも市内出身の保育士志望の学生が少ないとの指摘もある。特に福祉分野の職業への理解、意識醸成が必要と考えるが、見解を伺いたい。
9	6	小 島 雄 一	1 8月豪雨災害について 本年8月3、4日に発生した大雨による災害については、既に9月定例会において取り上げられた所である。国の激甚災害指定を受けて復旧のための事業が一部始まっているが、その被害の大きさは本市の災害対策に検討すべき多くの教訓を残したと思う。 市当局においては災害対策の検証を行うとの表明があったが、その内容を伺うとともに、いくつかの提案をしたいと思う。 (1) 本市における災害対策体制について伺う。 ア 今回の災害対策の検証作業の進捗を伺う。 イ 緊急時における本市担当各課や災害対策本部が立ち上がった場合の国・県の担当機関、土地改良区との連携はどのようになっているか伺う。 (2) 塩川町における洪水対策について伺う。 ア 浸水した地域の概略を伺う。 イ 姥堂川の危険性をどのように認識しているか伺う。また、その対策を伺う。 ウ 内水氾濫対策として身神川とその排水機場、また、別府地区の大排水路と姥堂川合流地点の排水ポンプの能力とその効果について伺う。さらに、藤ノ木と上窪、下窪の低地対策を伺う。 エ 塩川町誘致企業協議会、特養施設事業者からの要望にどのように対応するのか伺う。 オ 国交省の進める「特定都市河川」指定をどうするのか伺う。 2 小中学校適正規模適正配置について 文教厚生常任委員会においては、10月26日から28日まで島根県各地にて行政視察を行った。特に、邑南町の「日本一の子育て村を目指す構想」の取組は慧眼すべき内容であった。 邑南町は平成16年10月に3つの町村が合併し、17年目を迎えました。島根県中央部の山間にある自然豊かな町であります。1985年には3町村合計で15,795人の人口が2020年には10,163人に減少し、合併と同時に人口減少対策に取り組みました。 その結果、人口減少のカーブが緩やかになり、人口動態において社会増となりました。中学3年生の生徒数は減少が止まり、今後10年間安定して推移する見込みとなりました。 これを参考に以下の質問をする。 (1) 邑南町の取組をどう思うか伺う。 (2) 小学校の存続は子育て世代定住の重要な案件と思うが伺う。
10	1	矢 吹 哲 哉	1 8月3日の大雨について

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			(1) 市対策本部による対応の検証状況について ア 現地の状況掌握と避難指示の遅れについて イ 被害を拡大したと思われる原因について ウ 今後に生かすべき教訓と具体的改善点について (2) 復旧事業の取組について ア 全体の復旧事業の進捗状況について イ 農地、農業用施設復旧に関する市単独事業の個人負担率の低減について (3) 今後の治山治水事業に生かす教訓と具体的対策について 中山間地地域振興と一体とした治山治水事業の展開の検討について 2 物価高騰対策について 本市の物価高騰対策の現状について (1) 今年度の主な事業とその財源内訳について (2) 今後の具体的取組について ア 市民への施策について イ 事業者への施策について (3) 国の政策に要望する事項について ア 消費税の5%への減税について イ インボイス制度導入の中止について 3 小中学校適正規模適正配置実施計画（案）について 現在の取組状況について (1) 庁内検討委員会、教育委員会、総合教育会議での検討状況と今後の予定について (2) 審議会の開催予定時期について (3) 決定までのスケジュールについて ア 保護者、住民への説明については今後どのように行っていくのか。また、その時期について伺う。 イ 決定までの手順はどうなるのか。また、その時期について伺う。
11	12	関本美樹子	1 のるーと喜多方みんなべえ号のスマホ教室開催について 広報きたかたの令和4年11月号に大きくその実施要領について掲載されていました。 そこで、以下の点について伺います。 (1) AIオンデマンド交通に関するスマホ教室開催の意図は何か伺います。 (2) 11月開催の状況はどのようなものであったか伺います。 (3) 研修内容はどのようなものであったか伺います。 (4) 今後、この教室の継続と拡充をどうしていくか伺います。 2 本市における地域振興と観光による誘客について (1) 教育旅行では「きたかたで田舎体験やってみんべえ事業」が支援策としてあるが、令和4年度の実績（10月までの中間）と今後の対策全般について伺います。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			(2) カイギュウランドたかさとのリニューアルの必要性について伺います。 (3) 磐越西線橋梁崩落（喜多方～山都間）による関係地域住民への影響と現在の様子を伺います。 (4) 磐越西線の復旧については、只見線の復旧を参考に、J R 東日本と協力・協議して進めていただきたいと思います。磐越西線復旧時における地域と観光の復興をどのように想定しているか伺います。
12	9	菊地とも子	1 誰一人取り残さない社会の構築について (1) 带状疱疹ワクチン接種について (2) 妊娠・出産時における経済的支援について (3) 児童虐待の現状と対策について (4) オレンジリボン運動の取組について 2 喜多方市のデジタル化の推進について (1) マイナンバーカードの現在の申請率と交付率について (2) 行政手続きのオンライン化について (3) 自治体マイナポイントの取組について
13	2	小澤 誠	1 廃棄物の減量化・資源化について 日本のゴミの焼却率は世界の中で極端に高く、今でも約8割のゴミを燃やしています。こんな時、カーボンニュートラルが宣言され、昨年6月にはプラスチック資源循環促進法が制定されました。これらは日本の廃棄物行政に正真正銘の「焼却中心からゴミ減量化・資源化優先」の大きな転機になると期待されています。 (1) カーボンニュートラル宣言、プラスチック資源循環促進法の成立をどのように評価していますか。 (2) 本市一般廃棄物処理基本計画（平成29～38年度）の見直しが行われていると聞いていますが、同計画24ページの「8 一般廃棄物処理の課題」に示されている以下の課題をどのように事業化していく考えですか。 ア 生ゴミ等のコンポスト化 イ プラスチック容器包装の不適合物の除去 ウ 木・竹・わら類を木質バイオマスとしてリサイクルする事業 2 郷土民俗館等の運営について 市の「教育振興基本計画」（平成29～令和8年度）では「基本目標Ⅲ 歴史・文化・芸術への関心を高め豊かな感性と郷土愛を育む」とし、本市の文化等を身近に感じる取組を通して、市民の興味を喚起し関心を高め豊かな感性と郷土愛を育みます、と定めています。施策目標として①市民のニーズを踏まえた文化芸術に触れる機会の拡充、②地域に残る自然や歴史・文化等の保存と活用を挙げています。 しかし、郷土民俗館等の現状は、この理念・目標を達成するためにはあまりにも貧弱な施設も見られます。 (1) 喜多方市郷土民俗館、山都民俗資料館、飯豊山寄覧所館、高郷郷

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			土資料館、高郷民俗資料室、塩川郷土民舞伝習施設ふるさと会館、蔵の里（資料館）などに見学者を増やす努力をどのようにしてきているのか。 (2) 喜多方市公共施設等総合管理計画（個別施設計画、令和2年）では、「利用見込みのない施設廃止を検討する」としています。教育委員会の施設目標とは矛盾するのではないかな。 (3) 教育委員会は喜多方市郷土民俗館の複合施設第2期工事整備案を郷土民俗館等運営委員会に提案している。どんな展示室を提案しているのか。
14	16	齋藤勘一郎	1 農業振興について (1) 飼料用米の取組について ア 来年度作付けの飼料用米について、国では見直しを行っており、専用品種での作付けを検討中であるが、本市の作付予定面積に対する種もみの確保について、十分に対応できるのか。 イ 主食用米の需給調整のため、本年のように田植え後の飼料用米への転作の深掘りができなくなる可能性もあり、需給バランスに大きな影響を与える結果にならないか、見解を伺う。 ウ 今回の見直しについて、現場の生産者・農家の声をどのように捉え、これまで国に対して要請してきたのか伺う。 (2) ソバの作付けについて 水田活用直接支払交付金におけるソバの作付けについて5年間の中で1度は水田に戻し、水稻作付けをしなければならないということで、令和8年までの間に該当するソバ作付水田について、農家に対しこれまでどのような説明及び指導を行ってきたのか伺う。 また、生産者・農家の声、要望をどのように捉え、これまで国に対して要請してきたのか伺う。 2 耶麻農業高校の利活用について 11月8日、県教育委員会は来春実施する県立高校の募集定員枠を発表した。いよいよ来年度から耶麻農業高校の校名はなくなり、新たな統合校となり、現在の1年生は最後の耶麻農業高校の生徒になった。 現在、耶麻農業高校の施設・設備は、建物、農場建物、土地のうち学校敷地、実習地ですが、今後、この建物、土地をどのように利活用していくのか、市としての考え方について伺う。
15	18	伊藤弘明	1 今後の都市計画の在り方について (1) ここ10数年の市の政策において、都市計画の考え方がだいぶ後退していると感じる。全市的に見て、まだまだこれから都市計画としての整備をやっていかねばならないと思うのだが、いかが考えるのか。 (2) 市道豊川・慶徳線が供用されるに当たり、都市計画区域と用途地域の変更は生じるのか。
16	8	蛭川靖弘	1 市内で子どもを産める病院がなくなったことについて

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			本年6月に市内唯一の産婦人科病院であった山田産婦人科医院が産科をやめたことによって、会津地域で子どもを産める病院は、会津若松市の竹田総合病院と会津中央病院だけになりました。このことは現在の少子化時代において非常に大きな課題であると認識しており、市長の認識と対策について伺う。 (1) 市内に子どもを産める病院がなくなったことへの認識と、その課題について伺う。 (2) 市内に産婦人科医を招へいすることの可能性について伺う。 (3) 全国各地では、妊婦さんをサポートするための、ママサポートタクシーやマタニティタクシー、陣痛タクシー等と呼ばれるサービスが行われているが、本市での可能性について伺う。 (4) 全国の自治体では、妊婦さんへの支援としてタクシーチケット等を配布している事例があるが、本市の現状を伺う。 (5) 第1子、第2子を市内の産婦人科で出産し、第3子もその予定であったが、それが不可能となってしまった市内在住のお母さんから、会津若松市まで自身で運転していくことへの不安な声が寄せられている。行政として、妊婦さんに対して、出産までの新たな支援策を講じるべきだと考えるが、市長の考えを伺う。 (6) 全国的に産婦人科医や小児科医不足の状況であるが、これを早期に解決する手段は現状見つかっていない。遠い道のりではあるが、地域医療を守るという観点で、市内の高校生が将来医師を目指す場合に行政だけでなく、すべての喜多方市民の夢と希望という視点からの支援策を講じるべきだと考えるが、市長の考えを伺う。 2 本市職員の使用しているPCのマルチディスプレイ化について 様々な業務で、行政、民間問わずPCを使うという環境が整って久しいが、こと最近のPC使用環境の特性としてマルチディスプレイを使用することによって業務効率改善を目指す企業が増加している。 株式会社日本HPの調べによると、オフィスワーカーのうちマルチディスプレイを使用している人は48%にもなっており、民間の調査会社であるジョンペドルリサーチによればマルチディスプレイの導入で生産性が42%以上アップすることが報告されている。 (1) 本市の職員のPCを見ると15インチサイズのノートPCを利用している人が圧倒的多数であると認識しているが、業務においてマルチディスプレイを導入している割合について伺う。 (2) マルチディスプレイではなくても、15インチのディスプレイと24インチのモニターでは面積で3倍程度の差があり、生産性の点からだけでなく、老眼対応という観点からも大きなモニターを導入すべきと考える。本市の今年度のリースアップPCの台数とリプレイス計画について伺う。 (3) 自治体DXの導入が叫ばれているが、大きな予算をかけずに、すぐに効果が表れると考えられるDXの手段として、マルチディスプレイとデスクトップPCプラス大型モニターを導入すべきと考え

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			るが、市長の意向について伺う。 3 新型コロナウイルスオミクロン株の感染対策について 新型コロナウイルス感染症が発生し、コロナ禍と呼ばれる状態になって既に3年が経過しようとしており、感染当初に比較して様々な統計データが蓄積してきている状況である。また、膨大な統計データの中から分析された報告として、これまで有効とされていた感染対策が逆に感染を増長させているという学術論文も発表されている。 (1) 2021年4月にアメリカのサイエンスで発表された論文では、子どもの感染リスクを減らすことに一番大きな効果を生んでいるのが「毎日の体調チェック」であり、逆に感染リスクを最も高めてしまうのが「パーティションの設置」であると報告されている。現在、本市の小中学校に設置しているパーティションは、どのようなエビデンスをもとに設置されているのか伺う。 (2) 今年発足した東北有志医師の会では、5～11歳の子ども達への新型コロナワクチン接種の「努力義務」規定に強く抗議する緊急声明を出しており、ワクチンのブースター接種の危険性を訴えているが、このことについての市長の認識を伺う。
17	14	田 中 雅 人	1 特別職（三役）の退職金について 未だに収束が見えないコロナ禍と相次ぐ物価高騰に市民は厳しい生活を余儀なくされています。税金の集め方、使い方に対し、市民からさらに厳しい目が向けられています。 何度か取り上げてきた質問ですが、改めて制度の見直しを求めて伺います。 (1) 特別職（市長、副市長、教育長）の退職金について、報酬等審議会等の開催が必要ではないか伺う。 (2) 直近の特別職（市三役）の退職金支給状況について伺う。 2 本市の固定資産税はなぜ標準税率ではないのか 本市の固定資産税率は標準税率より高い1.45%を課しています。標準税率の1.4%に戻すべきと考えるが伺います。 (1) 標準税率より高い税率となっている理由と経緯について伺う。 (2) 標準税率に戻すことができない理由はあるのか伺う。 3 本市のこれからの林業再生について 農林業の持続的発展に向けて市の積極的な取組が求められていますが現状はどうでしょうか。クローズアップ現代（NHK）でも、これまでの大規模集約型の林業が土砂災害を招くと警鐘を鳴らし、環境に配慮した小規模分散型の自伐型林業が紹介され、環境保全型の林業として注目をされています。 そこで、伺います。 (1) 市の林業再生のための取組と現状について伺う。 (2) 自伐型林業という視点及び認識を伺う。 (3) 会津地域森林資源活用事業推進協議会の取組状況を伺う。 (4) 飯豊スギの活用について伺う。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
18	15	五十嵐吉也	1 農業振興地域整備計画の変更に基づく農地等の転用について 農業振興地域の整備に関する法律は、第1章総則で目的、第2章農振地域の整備方針、第3章農振地域の指定、第4章農振の整備計画等で構成され、各章には計画の変更に関する条文があります。 第1章から第4章まで、いずれも経済事情の変動その他情勢の推移により必要が生じた時は変更・解除をするものと規定し、内容は変更・解除できるものとなっております。特に、第4章は基礎調査の結果、または経済事情の変動その他の情勢の推移により必要が生じた時は変更しなければならないとあります。 一方、第5章で土地利用に関する措置として、開発行為の制限、農地等の転用制限が規定され、許可を必要としております。ただし、同法第15条の2第8項で国または地方公共団体が農用地区域内において開発行為をしようとする場合においては、国または地方公共団体と都道府県知事等との協議が成立することをもって同項の許可があったものとみなすとなっております。 そこで、伺います。 (1) 新しい喜多方地方広域市町村圏組合庁舎・消防庁舎が計画または建設された段階で、同法に基づき、農業振興地域整備計画に関する基礎調査を実施しておりますか。実施していないとすれば、その理由は何か伺います。 (2) 昨年、喜多方地方広域市町村圏組合庁舎・消防庁舎が建設されました。現在の場所に建設を選定された理由を広域市町村圏組合から市はどのような説明を受けたのか伺います。 2 市道豊川・慶徳線の県道移管について 市道豊川・慶徳線の道路工事が完了した後、この道路を県に移管する、いわゆる県道への昇格の手続きを取られたらいかがか、市の考えを伺います。
19	17	佐藤忠孝	1 入田付地区上水道事業について (1) 平成27年に国庫補助事業として採択を受け、岩月町上岩崎分岐から二軒在家まで、さらに入田付新田までの本管で浄水を配水池に貯め、その落差で水道供給することとの計画であり、令和4年度完成、その後集落の供給開始予定となっておりますが、現在までの進捗状況を伺います。 (2) 当時の設計と、現在の施工の変更はないか伺います。 令和4年の完成に向け、私も何度も一般質問を行ってまいりましたが、入田付の水道の供給工事については8年間の工事でありましたが、予定工事の内容の変更などがあれば伺います。 (3) 過去の一般質問を踏まえ、昨年、今後の山間地の舗装工事の入札の在り方についての質問をいたしました。今回の工事の現場については、仮の舗装工事から本舗装の工事になるかと思いますが、降雪前に入札を行い、品質確保や仕上がりが良くできるような工事にするようにと質問をいたしておりますが、いかがか伺います。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			(4) 今後の給水については、集落に説明会等をするようにと申し上げました。あれから時間が経っておりますが、どのような対応を取っておりますか、伺います。 2 空き家対策について (1) 喜多方市も少子高齢化・人口減少により管理不全な空き家が増加しているように見られますが、どのくらい戸数があるか伺います。 (2) 管理不全な空き家により、防災・防犯・衛生面での苦情の状況及びどのような対応をしているのか伺います。 (3) 空き家の解体補助金申請件数及び交付決定件数がどのくらいあるのか伺います。 (4) 解体を行うにはアスベスト事前調査が必要となりますが、調査費用及び除去費用の補助の検討について伺います。 (5) 空き家及び空き地における市への寄附の申し出状況及び寄附を受ける際の条件を伺います。